

令和 6 年度第 4 回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和 7 年 2 月 6 日（木） 10 時 30 分～11 時 35 分
開催場所	川越駅西口 U-PLACE 3 階 会議室
出席委員	高橋会長、大塚委員、大西委員、加藤委員、後藤委員、 大野一美委員、大嶋委員、大野操委員、檜村委員、山田委員、 野沢委員、長谷部委員、岡村委員、峯岸委員、栗林委員、飛松委員、 柳井委員
事務局	福祉部障害者福祉課 忍田課長（福祉部参事）、岡安副課長、小沼副主幹、細村主任、 小野寺主事 こども未来部療育支援課 川上課長
欠席委員	増田副会長、峯島委員
傍聴人	0 名
議題	障害福祉に関するアンケート調査について
会議資料	・次第 ・川越市障害者施策審議会委員名簿 ・資料 1 障害福祉に関するアンケート調査について ・資料 2 障害福祉に関するアンケート調査__設問項目一覧
審議結果概要	障害福祉に関するアンケート調査については、今回委員から出された以下の主な意見を踏まえ、次回の審議会では調査票の素案をお示しする。 ・選択肢の数が多いので、統合できるものは統合したほうがよい。 ・市民向けアンケートに障害者へのイメージを問う設問項目を自由記述で入れてほしい。 ・市民向けアンケートに「障害のある方との交流する機会への参加を希望する理由」という項目を追加してほしい。 ・「学校卒業後の日中の過ごし方」について、進学範囲が限定されないように選択肢を工夫してほしい。 ・障害者週間の集いの認知度を問う設問を追加してほしい。 ・「学校卒業後に希望する日中の過ごし方」について、選択肢の「事業所」が何を指すのか明確にした方がよい。

	・無回答を減らす工夫が必要。 ・「市民向けアンケート」の選択肢にある「手助け」の記載は、障害者は「手助けされる存在」というバイアスを与えかねないため、修正してほしい。 ・障害のある方との交流する機会への参加を希望しない理由だけでなく「希望する理由」も聞く設問を追加してほしい。 ・「障害者のある方との交流する機会への参加」という記載だと、特別な機会に参加する人というイメージを持たれてしまう。表現を検討してほしい。
--	--

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】※傍聴者なし
事務局	【議題 障害福祉に関するアンケート調査について】 資料1、2に基づき説明
会長	議題について事務局より説明をいただいた。質問等あるか。
委員	資料2「学校卒業後の日中の過ごし方」について伺いたい。 選択肢に専門学校や大学とあるが、進学範囲が限定されているように感じる。別の言葉にしてほしい。
事務局	選択肢を見直し、修正する。
委員	資料2「将来日中はどこで過ごしたいか」について伺いたい。 幼稚園から高齢者施設までそれぞれに選択肢があり、選択肢の数が多くなっている。 統合できるものがあれば、統合してもいいのではないか。
事務局	調査対象が0歳から高齢の方までと幅広いため、選択肢も幅広い年齢に対応した選択肢を記載している。 今後事務局のほうで検討し、整理する。
会長	文言を整理した上で、将来の希望を聞く選択肢とするのがよい。例えば就職という選択肢に統合できるものもあると考える。
委員	資料2「災害に備え、準備しているもの」について伺いたい。 サービス等利用計画の中に避難場所やサポーターの連絡場所の記載があると利用者も自分で避難が可能になってくるし、避難のサポートもできるようになると思う。 サービス等利用計画にある避難場所等の記載を意識してもらうためにも、そのような選択肢を入れるのはどうか。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	かなり細かい選択肢になるため、ご意見を反映できるかは即答できないが、検討させていただきたい。
委員	障害者週間の集いの認知度についての項目を周知のためにも入れたい。項目を増やすことになってしまうが、検討いただきたい。
事務局	「市民向けアンケート」に障害者週間の集いの認知度を問う設問項目を追加する。
委員	資料2「市民向けアンケート」に障害者のイメージを問う設問項目を自由記述で加えてはどうか。
事務局	「市民向けアンケート」に障害者のイメージを問う設問項目を自由記述で追加する。
委員	資料2「日常生活を送る上で必要な支援について」伺いたい。 グループホームは自宅と同じ扱いのため、訪問看護を利用している利用者が多くいる。入所・グループホーム利用者対象の調査に「在宅ケアの支援」についての項目が入っていないが、入れて欲しい。
事務局	入所・グループホーム利用者の調査票に設問を加えるか、別の項目で訪問看護の利用有無が読み取れるようにするか、検討する。
委員	資料2「学校卒業後に希望する日中の過ごし方」について伺いたい。 選択肢の事業所は何を指しているのか明確にしたほうがよい。 選択肢は統合して、就労、進学、その他の方がよいと考える。 また、就労移行支援事業所や職業学校を利用した後に就労することを考えている方もいると思うので、そのような選択肢を入れていただきたい。
事務局	修正し、次回審議会で案をお示しする。
委員	今回の調査を行う際に、無回答もあると考えられる。 意図的に回答していないのか、回答漏れなのか、分かるような選択肢の作り方をさせていただきたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
会長	技術的な話をすると、オンラインで回答する調査であれば未回答がある場合、次のページ進めないように設定することはできる。 しかし、紙だとオンラインのような設定ができない分、回答漏れか未回答かを判断することは難しいのではないかと思います。
事務局	委員の指摘のとおり、単一回答であるために、一つに絞り込めず無回答になってしまう可能性もあるため、複数回答にするなどして調整する。
委員	前回のアンケート調査報告書を確認すると、無回答の方が12.8%もいる項目がある。複数回答でもいいのではないかと思います。 無回答を減らすための工夫が必要である。
事務局	回答数の少なかった選択肢など、前回の結果を踏まえて、全体的に整理していきたい。
会長	項目数が多いアンケートは回答側の負担が大きい。 できる限り整理して、項目数を少なくしたい。 また、特定の項目だけ無回答が多いのであれば、設問のワーディングの改善がいる。 選択肢等を工夫しても回答漏れは出てきてしまうので、未回答の扱いは事前に決めておく必要がある。
委員	資料2「災害に備え、準備しているもの」について伺いたい。 グループホーム利用者は障害支援区分が2や3の軽い方もいる。ただ、夜間は職員がいないグループホームもあるため、グループホーム利用者も避難行動要支援者名簿に登録していただきたい。 現在、支援区分の軽いグループホームの利用者は登録されているのか。
事務局	確認して会議後、回答する。 ■回答 避難行動要支援者の対象は次のとおりですが、対象でない場合でも、グループホーム利用者やご家族等から申し出があれば、避難行動要支援者名簿への登録が可能であることを確認しております。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	・ 65 歳以上の高齢者のみの世帯かつ要介護 3 以上の方 ・ 世帯全員が 75 歳以上の高齢者の方 ・ 視覚障害、聴覚障害、下肢・体幹・移動機能障害のある方 ・ 上記以外の身体障害（1 級または 2 級）のある方 ・ 知的障害（㊤または A）のある方 ・ 精神障害者保健福祉手帳（1 級）をお持ちの方 ・ その他、上記に準じる状態にあり、支援の必要がある方（緊急通報システム利用者や難病・小児慢性特定疾病患者、医療的ケアを受けている方など） （施設や病院などに長期入所・入院されている方は対象外）
委員	差別解消法は略称なので、正式名称で記載する方がよい。
事務局	調査票で初出の言葉は正式名称に修正する。
委員	資料 2「市民向けアンケート」の選択肢に「手助け」という文言が入っているが、その前後の項目だと「関わり」となっている。 「手助け」と記載してしまうと、障害者は手助けされる存在というバイアスが入ってしまうので、「関わり」で統一するほうがよい。 また、「障害のある方との交流する機会への参加を希望しない理由」という項目がある。 希望しない方は理由を聞いて希望する方は理由を聞かない意図を伝えていただきたい。
事務局	委員のご指摘のとおり、「手助け」という記載がバイアスをかけてしまう可能性があるため、選択肢 6 は削除する。 「障害のある方との交流する機会への参加を希望しない理由」を項目に入れたことについては、希望しない理由を聞くことで、どのようにすれば今後交流の機会を増やしていけるのか考えたいという意図があった。
委員	なぜ交流を希望するのかについても聞いたほうがよいと考える。
事務局	交流を希望する理由も聞けるように設問を調整する。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
委員	「障害者のある方との交流する機会への参加」という記載だと、何か「特別な交流の機会」というイメージを持たれてしまう。 他の表現に変更できないか。
事務局	日常の中で接する機会も含まれることが読み取れるように表現を検討する。
会長	【その他】 その他、委員からの報告事項はあるか。
	特になし
会長	事務局から何かあるか。
事務局	・次回会議の日程について 次回の会議は令和7年5月下旬頃開催予定。 会場含め、正式な案内は追って通知する。
会長	委員から質問等はあるか。
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和6年度第4回障害者施策審議会を終了する。
	以上